



西日本区ホームページ・http://www.ys-west.or.jp/  
西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2015年4月号

### 「主題」

- 国際会長** : 言葉より行動を  
**アジア地域会長** : 未来を始めよう、今すぐに  
**西日本区理事** : 「響きあい、ともに歩む To walk together, echoing each other」  
 - 心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく -  
**中部部長** : 「将来を見つめたワイズ活動!」を今やってみよう!  
**プラザクラブ会長** : 「継続するクラブ活動を進めよう!」  
**強調月間・活動** : 【YMCA サービス・ASF・ワイズは、YMCA スタッフ、ユースと手を取り合って、共に活動し、共に成長しましょう。】

### 4月例会および今後の予定案内

#### 【4月第1例会 (プラザクラブ創設記念例会)】

日時: 4月9日(木)・18:30-19:30

場所: 新館・名古屋YMCA会議室

内容: 会議後、祝賀会

場所: いごこ家 (いごこち)・050-5861-8957

名古屋市千種区春岡 1-5-1 池下 510 ビル中 2 F

#### 【4月第2例会】

日時: 4月23日(木)・18:45-

場所: 新館・名古屋YMCA会議室

内容: 次月例会の打ち合わせ

出席義務者: 役員 (後藤・榎田・鈴木)

5月担当者 (大島・鈴木)

6月担当者 (島崎・西野)

#### 【今後の予定】

##### 1. クラシック名曲コンサート

日時: 4月4日(土)・14:00開演 (演奏は約60分)

場所: 神沢ファミリーYMCA 3Fホール

入場無料

演奏予定曲: クライスラー・愛の喜び 滝廉太郎・花 他

##### 2. 春の根ノ上まつり

日時: 4月29日(水・祝)・現地集合 10:30

場所: 根の上キャンプ場

費用: 3,500円/人

##### 3. 陶芸教室

日時: 5月2日(土)・現地集合 10:00

場所: 佐渡山工房 (土岐市下石(おろし)町)

費用: 5,000円/人

### 3月例会およびその他活動報告

(敬称略)

役員	会員氏名	出席者								
		1	2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	大島 孝三郎	○		○	○					
	小澤 幸男	○								
書記	榎田 守隆	○	○	○	○					
会長	後藤 猛	○	○	○						
	島崎 正剛	○								
会計	鈴木 誉三	○	○	○						
	高田 廣	○	○							
連絡主事	西野 真希	○	○							
ゲスト	松本 武彦	○								
	大西 博昭	○								
	中村 隆	○								
諸活動	①東日本大震災 犠牲者追悼式 3/11									
	②リーダー感謝祭 3/21									
	③ワイズ連絡会 3/27									
	④第3回チャリティウォーク 3/28									
出席率(%)										100.0
クラブファンド(円) ・当月/累計		0								64,010
5月号寄稿者・大島 (1600-2000字程度)										
6月号・後藤/7月号・榎田										

【2014-15年度クラブ役員】メネット連絡員・後藤猛/副会長.YMCA サービス・小澤幸男/プリテン委員長・榎田守隆/EMC. BF. EF. JWF. メール委員・大島孝三郎/広報事業・鈴木誉三 /IBC. YEEP・島崎正剛/CS. TOP・高田廣/連絡主事・西野真希

### 3月第1例会報告

日時:3月12日(木)・18:30-22:00

場所:名古屋 YMCA 会議室

松本西日本区理事、大西中部部長をお迎えして、ワイズソングを終え後藤会長、松本理事、大西部長それぞれの挨拶が続き、会食が始まる。

松本理事は、「クラブの解散届を受け取りました。たとえば、他クラブの若者を転籍させてもらってでも何とか継続できないだろうか」とのお考えを示されたが、解散の意志は固く「多くの方が他クラブへの転籍されることをお願いします」と結んだ。



#### 卓話「名古屋 YMCA の未来展望」

講師・中村隆総主事

上前津の会館を売却し非営利団体といえ、縮小均衡経営?を続けていたらいずれは、と心配していた名古屋 YMCA が、保育園の開設、刈谷市ウォーターパレスの指定管理者、南山 YMCA のリニューアル、4月1日には新館をオープンする。この1年で次々と拡大路線に踏み出した名古屋 YMCA の将来展望を演目をお願いした。



まず、名古屋 YMCA の Mission(使命)を従来の「キリスト教精神に基づき すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し 相互の交わりと連携を通して、共に生きる社会の実現をめざします」に「未来を築く子どもたちを、地域・家庭と共に育みます」「グローバルな視点を持った青少年を育みます」の2点を加えた。

小さくなり過ぎた YMCA はいずれ衰退する。子どもと青少年に焦点を当て、活動を拡げる。具体的には保育園の開設と南山幼稚園の充実。かみさわ保育園は順調にスタートしたが、南山幼稚園は昔からのブランドだけでは、

もう園児は集まらなくなった。内装をリニューアルし、給食を提供し、新たに満3歳児を募集する。日和田キャンプ場を現在改装中、参加費を寄付で賄い貧しい子どもたちを無料で招待する、ことも考えている。

リーダーを50人育成、さらに保育園の開設、日本語学校の設定、プールも作りたいなど「これからは名古屋 YMCA が大きく変わります」とプロジェクターを使いながら、中村総主事は熱く語った。

報告・連絡事項

#### 1. 後藤会長

(1)4月第1例会

詳細1面参照

(2)2014年度感謝祭および懇親会

3月21日(土)午後4時から南山 YMCA で開催する。

(3)ワイズ連絡会

榎田書記に代理をお願いする。

#### 2. 西野連絡主事

「気軽に楽しむクラシック名曲コンサート」開催

詳細は1面参照のこと

#### 3. 榎田

陶芸教室開催の案内

詳細は1面参照のこと

### 3月第2例会報告

日時:3月26日(木)・18:45-19:45

場所:名古屋 YMCA 会議室

報告・連絡事項

#### 1. 後藤会長

(1)名古屋 YMCA 献堂式(新築の会堂を神に捧げる儀式)

日時:4月4日(土)・15:30-

場所:名古屋 YMCA 新館

(2)盛岡 YMCA への震災復興支援募金

1万円を用意する。他クラブの考え方を3月27日のワイズ連絡会で確認願います。

#### 2. 榎田

(1)陶芸教室

川口交流事業主査を窓口到他クラブへ連絡する。

(2)パレットキッズの魚釣り

時期8月上旬、今までの通り開催の予定。

#### 3. 3月30日(月)代官町 YMCA 引越し

クラブ旗、万国旗、鐘、名札箱は本日後藤が持ち帰る。

### 東日本大震災 犠牲者追悼式

東日本大震災の発生から4年を迎えた11日、栄もちの木広場で、100を超す企業・団体・個人などが支援する犠牲者の追悼式が開催された。

午後1時からのキャンドル点火前に着いた。記帳してチャッカマン(ピストル型のガスライター)を受け取り、整然と並べられたコップに入ったキャンドルに火をつける。キャンドルの芯に直接炎を当ててもなかなか点かな

い。点いてもすぐ消える。コップを持ち上げて傾け、芯の下側を溶かしながら炎を芯に近づけると燃え上がった。

広場一杯に並べられたキャンドルに、1 時間ほど点火を続けるうちに手が痛くなってきた。引き金部分が固く、手のひらがこむら返りを起こす。年を取り握力が落ちたわが身には、もうこの辺りが限界か、ベンチで暫く休み、帰途についた。

翌日の中日新聞は『名古屋・栄のもちの木広場では、2000 人の来場者が犠牲者に祈りをささげた。・・・午後 2 時 46 分の時報に合わせ、東北の方向を向いて 1 分間黙とう。広場には約 2 万個の手作りのキャンドルが置かれ、揺らめく炎に向けて手を合わせる人もいた』と記す。



## 2014 年度感謝祭

3 月 21 日、名古屋 YMCA を 4 年間支えてくれた 9 人のリーダーたちの卒業式、「リーダー感謝祭」が YMCA スタッフ、後輩リーダー、ワイズの方々約 40 人を迎え南山ファミリーYMCA で行われた。



第 1 部礼拝の奨励は、名古屋学院大学の宮有博先生の「子どもの命を守る、を基調に今後のご活躍を」、また第 2 部の表彰楯の授与式には、中村総主事から「YMCA で培ったボランティア精神は、感謝の連鎖であることを忘れないで」と、はなむけの言葉が送られた。

第 3 部の懇親会は、持ち寄ったり買い出しに行ったりしたビールやピザなどをいただきながら、和気あいあいと 1 時間を過ごした。



## ワイズ連絡会

日時:3 月 27 日(金)・19:00-20:00

場所:南山 YMCA 会議室

出席:東海・南山・プラザ・グランパス・YMCA

報告・連絡事項

◇既にメール委員の転送文書、例会で伝えられた事項は省く。

1. 東海・4 月第 1 例会(4/10)卓話・「トリックアートについて」
2. プラザ・解散後クラブ開催行事(パレットキッズとマス釣り・老人ホーム音楽慰問・陶芸教室)は当面継続する。
3. グランパス・「東北被災地ツアー」(4/11-12)の折、盛岡 YMCA を訪問し、名古屋「震災被災者」の卓話(3/10)、東海のウォーキング(3/28)およびクラブで集めた支援金を手渡す。
4. 西宮クラブ要請の「盛岡 YMCA 宮古震災復興事業・・・」は、各クラブの判断で盛岡 YMCA へ直接送金する。
5. YMCA・ボランティアセンター担当者・中野→牧に交代。
6. 次回ワイズ連絡会・5 月 13 日(水)・池下 YMCA 5F 新旧会長出席のこと、会議後懇親会を行う。

## 第 3 回チャリティウォーキング「文化のみち」

3 月 28 日(土)晴、気温 16 度。東海クラブが主催する、桜の季節恒例となるウォーキングに参加した。地下鉄市役所 2 番出口に集合したメンバーは 13 名であった。会費相当額の献金が集められ、盛岡 YMCA に立ち寄る「東北被災地支援ツアー」参加の吉田一誠メンに託された。

この日は絶好のウォーキング日和となり木蓮や満開になった桜を愛でながら、4 月 1 日にオープンする名古屋 YMCA の池下新館をゴールに、約 9 キロの行程を歩いた。

東区の「文化のみち」と名付けられたこのエリアは名古屋城の東にあり、江戸から明治、大正へと続く名古屋の近代化の歩みを伝える多くの建築物など貴重な歴史遺産がある。尾張徳川家の菩提寺建中寺や豊田佐助（豊田佐吉を支えた弟）をはじめ、明治の先端事業の起業家たちの旧居、名古屋最古の木造教会の主税町教会（写真掲載）、川上貞奴邸、名古屋市政資料館などがある。白壁町、撞木（しゅもく）町、主税（ちから）町、百人町、という古い呼び方も残されている。

今日の時間と体力ではとても敵わないので日を改めて、武家屋敷散策コース、寺町散策コースなどテーマを選び、訪れ、説明を受けたり味わったりしたいと思っている。



（大島 孝三郎）

## 老いてなお人生

外出する時、車に乗るばかりの生活をしていた私が、最近公共機関を良く利用する様になった。私鉄や地下鉄など乗車する場合、階段やコンコースなど少し歩かなくてはならないが、“文明の力” エスカレーターやエレベーターは、老人や障害のある人達にとっても優しくて便利だ。車輛もシルバーシートや女性専用車輛と弱者に優先スペースが設けてある。ラッシュ時に乗車しても優先座席は空けてある事がある。周りの乗客も心得たものだ。

また、満席でも弱者を見ると席をゆずってくれるが、ゆずる人、ゆずられる人も勇気がある。私なども数回ゆずってもらった事がある。中には大きな荷物をシートに置いたり、大股を拵げて二人前を占領している人もたまに見るが、それはごく一部でやはり日本人は弱者に親切な人が多いと思う。現在は高齢者社会であるが、高齢者に席をゆずるのは当たり前と、厚かましい考えの人もいる。ゆずる人の善意なのだと言う事を忘れてはいけない。

私は1936年生まれ79歳になる老人の一人であるが、老人と思いたくない。お蔭さまで健康で五体満足でも、さすがに最近頭の回転の悪さ、物忘れの多さは人に負けない。以前ブリテンに50、60 湊垂れ小僧、70代はこれからだと寄稿した事があるが・・・。

何か目的意識を持つ事を自分に言い聞かせている。若さを保つために、適度な運動を心掛けている。少しでも身体を動かすことで血の巡りが良くなるような気がする。又忘れてならないのは男性女性を問わず、適度な色気だ。

幾つになっても生きている証だと思う。

最近の女性はおしゃれだ。美しい人を見ると色気を感じず。これから春になると一層おしゃれが出来る。おおいに人生を楽しまなくては、でも老人としての心得は必要だ。

ある本の人生訓が心に残ったので紹介する。「ぼけずに長生きしなされや」。

歳を取ったらでしゃばらず、憎たれ口に、泣き言に、人の陰口言わず、他人の事はほめなされ。聞かれりや教えてあげても、知っていることも知らぬふり、いつでもアホでいる事だ、勝ったらあかん、負けなされ、いずれお世話になる身なら、若い人には負けなされ。一歩さがつてゆずるのが、円満に行くコツですわ、いつでも感謝を忘れずに、どんな事にもありがとう。お金の欲を捨てなされ、なんぼゼニ、カネあってでも死んだら持って行けません。あの人は良い人だと、人から言われても、生きている時にばらまいて、山ほど徳を積みなされ、というのは表向き、本当はゼニ、カネ離さずに死ぬまでしっかり持ちなされ、人にはケチと言われても、お金があれば大事にし、昔のことはみんな忘れ、自慢話はしなさんな、わたしの時代はもう過ぎた。なんぼカネでも体が言うことききません、あんたはえらい、私はあかん、そんな気持ちで居りなされ。我が子に孫に世間さま、どなたからでも慕われる、良い年寄になりなされ、ボケないように頑張って、せいぜい長生きすることだ。

わたしも参考にしよう。

（高田 廣）

## 聖書の言葉

【正しい者は七たび倒れても、また起き上がる。しかし、悪しき者は災いによって滅びる。（箴言 24. 16）】

【日本のことわざの「七転び八起き」（何度失敗しても、あきらめず、そのたびに勇気を出して立ち上がること・新明解国語辞典）を連想するが、どうも意味が違うらしい。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教を信奉する国々では、神が天地創造の完結に7日間を要したことから、数字の「7」は「完全」「完結」を表わす。従って「七たび倒れる」とは、どんなに頑張っても、もう二度と起き上がれないほど完全に打ちのめされた状態、をいう。ここは『神様に従う人は、完全に落ち込み、前向きに生きる気力もなくなった時でも、神様が助けてくださいます』くらいの意味だろうか。】

【七転び八起き、をネット検索していると、7回転んだら起きるのも7回だろう、とQ&A欄の質問に「最初は転んだ状態で一起き」とか「七や八という数字は縁起をかついで使った」などの意見の中に、「先日、建仁寺のお坊さんの説法で聞きました」の回答があった。『生まれて最初に立つときの回数がカウントされているから、「八起き」なのです。人は自分だけで生きているわけではありません。周りの助けがあって生きていけるという意味が込められているのです。』